

実務経験のある教員等による授業科目一覧
上越看護専門学校（看護学科3年課程）

	授 業 科 目	単位 (時間)	進 度	実務経験のある 教員等による 授業	臨床経験 の職種	授業目的
基礎分野	1. 論理的思考	1(30)	1年前期			物事を論理的に思考し、客観的に表現できる能力を養う
	2. 情報科学	1(30)	1年後期			情報化及び国際化への対応ができる能力を養う
	3. 生活科学	1(30)	1年前期			生活の構成要素を理解し、健康問題に対応できる能力を養う
	4. 人間理解(存在) 論	1(30)	1年前期			人間とはなにか、その本質について考える基礎的能力を養う
	5. 人間関係論	1(30)	1年後期			人間関係についての理解を深め、看護実践に必要な人間関係の理論と技法を学ぶ
	6. 現代の哲学	1(30)	2年前期			現代の哲学を生命倫理の基本から理解する
	7. 臨床心理学	1(30)	1年後期			医療における心理学を理解する
	8. 生涯教育論	1(30)	2年後期			人間の成長発達と学習と社会教育について学び、生涯学習の必要性を理解する
	9. 日本文化論	1(30)	3年前期			国際社会における日本の文化について理解を深め、多角的な視点や広い視野に立って人間・社会を捉える
	10. 現代家族論	1(30)	1年後期			現代社会における家族の特徴・今日的課題を理解する
	11. 医療英語 I	1(30)	1年前期			医療に関する英語を理解する
	12. 医療英語 II	1(30)	1年後期			臨地における看護に必要な医療英語を理解する
	13. レクリエーション理論と実践	1(30)	1年後期			看護に必要なレクリエーションの理論と実践について理解する
	小 計	13(390)				
専門基礎分野	14. 形態機能学 I	1(15)	1年前期	○	医師	人体の構造・人体生理の基礎知識を理解する
	15. 形態機能学 II	1(30)	1年前期	○	医師	循環器系・呼吸器系の構造と機能を理解する
	16. 形態機能学 III	1(30)	1年前期			消化器系・内分泌系・泌尿器系の構造と機能を理解する
	17. 形態機能学 IV	1(30)	1年前期	○	医師	神経系・感覚器系の構造と機能を理解する
	18. 形態機能学 V	1(30)	1年前期			骨格系・筋系・生殖器系の構造と機能を理解する
	19. 病態生理・治療学 I	1(30)	1年後期	○	医師	疾病の成り立ちと治療法を理解する
	20. 病態生理・治療学 II	1(30)	1年後期	○	医師	脳・神経系の機能障害を理解する
	21. 病態生理・治療学 III	1(30)	1年後期	○	医師	呼吸器・循環器・造血器の機能障害を理解する
	22. 病態生理・治療学 IV	1(30)	1年後期	○	医師	消化器の機能障害を理解する
	23. 病態生理・治療学 V	1(30)	1年後期	○	医師	腎疾患・代謝内分泌の機能障害を理解する
	24. 病態生理・治療学 VI	1(30)	2年前期	○	医師	運動器・感覚器・歯科・口腔系の機能障害を理解する
	25. 病態生理・治療学 VII	1(30)	2年前期	○	医師	感染症・免疫アレルギー・泌尿生殖器の機能障害を理解する
	26. 薬理学 I	1(15)	1年後期	○	薬剤師	薬の薬理作用・薬物動態と、薬物の安全管理について理解する
専門分野 I	27. 薬理学 II	1(30)	2年前期	○	薬剤師	各種医薬品の作用メカニズムと使用法に関する基本的事項を理解する
	28. 代謝栄養学	1(30)	1年後期	○	管理栄養士	食物と栄養・日常生活と栄養・疾病と栄養について学び、ライフステージに沿った栄養管理を理解する
	29. 現代医療論 I	1(15)	1年前期	○	医師	医療・看護の原点から、今日の医療を取り巻く諸問題を理解する
	30. 現代医療論 II	2(30)	3年前期	○	医師	医療倫理の側面から現代医療の諸問題を理解する
	31. 保健医療福祉論	2(30)	1年後期	○	社会福祉士	保健医療福祉の変遷・現状・課題が理解できる
	32. 関係法規	1(15)	2年前期			保健・医療・福祉・看護に関する法律について理解する
	小 計	21(510)				
専門分野 II	基礎看護学					
	33. 基礎看護学概論	1(30)	1年前期	○	看護師 専任教員	看護の概念・看護学の発展段階・看護の役割・倫理について理解する (看護の概念・看護倫理)
	34. 基礎看護学方法論 I	1(15)	1年前期	○	専任教員	看護援助の基礎となるコミュニケーション技術を理解し、方法を学ぶ (人間関係を成立させる技術)
	35. 基礎看護学方法論 II	1(30)	1年前期	○	専任教員	対象者の健康にかかわる生活環境を理解し、調整の方法を学ぶ (医療・療養環境を整える技術)
	36. 基礎看護学方法論 III	1(30)	1年前期	○	専任教員	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメントの概念を理解し、方法を学ぶ (対象把握の技術)
	37. 基礎看護学方法論 IV	1(30)	1年後期	○	専任教員	問題解決技法として看護過程について理解する (問題解決の技術)
	38. 基礎看護学方法論 V	1(30)	1年前期	○	看護師 専任教員	食事・排泄の意味と関連する要因を理解し、適切な方法を学ぶ
	39. 基礎看護学方法論 VI	1(30)	1年前期	○	専任教員	活動の休息の意義とメカニズムが生体に及ぼす影響を理解する 清潔の意味と関連する要因を理解し、適切な方法を学ぶ (活動・休息・清潔)
	40. 基礎看護学方法論 VII	1(30)	2年前期	○	専任教員	薬物療法の目的と生体への影響、効果的な看護を理解する (薬物療法と看護、採血法)
	41. 基礎看護学方法論 VIII	2(45)	2年前期	○	看護師 専任教員	臨床看護に共通する診療・検査・ME機器に関し、安全に実施できる方法について理解する (治療・検査・ME機器)
	小 計	10(270)				
	臨地実習					
	42. 基礎看護実習 I	1(45)	1年前期	○	専任教員	看護の対象者とその生活の場を知り、看護の役割について理解するなかで看護学生としての自覚を深める
	43. 基礎看護実習 II	2(90)	2年前期	○	専任教員	1) 対象者のニーズを把握し、対象に適した個別的な日常生活援助を実施する 2) 看護師として責任ある行動をとる
専門分野 II	小 計		3(135)			
	成人看護学					
	44. 成人看護学概論	1(30)	1年後期	○	保健師 専任教員	成人看護の目的・対象・機能について理解する
	45. 成人看護学方法論 I	1(30)	2年前期	○	専任教員	生命の危機状態にある人の心身の変化に対応し得る看護について理解する
専門分野 II	46. 成人看護学方法論 II	1(30)	2年前期	○	看護師 専任教員	回復と自立に向けた看護について理解する

講義合計	74(1980)		うち実務経験のある教員等による授業単位数	58 (1515)
臨地実習合計	23(1035)		うち実務経験のある教員等による授業単位数	23 (1035)
総合計	97(3015)		うち実務経験のある教員等による授業単位数	81 (2550)